

次号予告

特集 面接技術

面接……………山梨日下部病院 MD 松井紀和
 インテーク面接

理学療法士におけるインテーク面接……………筑波大学 PT 福屋靖子
 作業療法士におけるインテーク面接(身障)

……………九州リハビリ大学校 OT 山口鞆音
 作業療法士におけるインテーク面接(精神)

……………九州大学病院 OT 内村静子
 精神療法的治療面接(通院治療を中心に)

……………山梨日下部病院 CP 佐野直哉
 相談面接……………PSW 横田碧

座談会:技術としての面接……………荻島秀男・他,(司会)大段智亮
 混沌と較差……………牧病院 OT 須賀善良

とびら 講座 運動生理学 3. 運動と血液……………中京大学・体育学部 朝比奈一男
 プログレス 向精神薬の最近の動向(Ⅲ)(予防薬)

……………慶応大学精神神経科 MD 吉田弘宗
 リハビリテーション・インフォメーション

<石川県>……………鳴和総合病院 PT 山黒春男・他
 <和歌山県>……………和歌山労災病院 PT 椎原敏昭・他

あんでな 大学医学部におけるリハビリ教育の実態(現状)
 ………………帝京大学 MD 岩倉博光

資料 第16回理学療法士・作業療法士国家試験・模範解答(Ⅳ)(1981年)

編集後記

1981年盛夏、国際障害者年も軌道にのり、盛り沢山の行事が日本列島のあちこちでくりひろげられるようになりました。あなたの地域での活動は活発ですか? あなたはそれに積極的に参加していますか? 障害者たちは燃えています。私たち障害者を援助する立場にある者も千載一遇のチャンスですから大いに闘志をやり行動しましょう。国際障害者年推進協議会では、先だって「10年の行動計画」の草案をまとめました。100余の団体が加盟している協議会の総会では、この案をめぐって活発な議論が展開されました。「障害者中心でなく専門家志向である」とか、「格調が低い」とか「長期的展望がなく近視眼的である」とか。主催者側の御苦勞も大変であろうと推察しました。PT, OTに関連するものとしては「リハビリテーション技術者の4年制大学での養成」などがあげられていました。PT, OTの評価をしてくれるのは患者・障害者です。「PT, OTの教育は4年制でなければダメ」と彼らが叫ぶようになってく

れることを願うものです。

さて、今回の特集は「デイ・ケア」です。これは極めて今日的なテーマといえます。これは極めて今日的なテーマといえましょう。精神科(伊藤氏・他、吉沢氏)、老人(沢田氏、河本氏)、小児(太田氏・他)と各分野のデイ・ケアの実践報告はいずれも「きびしい条件の中でよくやっている」と頭の下るものばかりです。80年代から21世紀のリハの形態としてみます期待されるデイ・ケアの今後の発展を祈ってやみません。それと共にPT, OTの技術も深めていかなくてはならないでしょう。「何もPT, OTでなくてもやれるでしょう」とはこの分野で働く管理者からよくきくことばです。また現にPT, OT不足でやりたくても積極的には取り組めない分野です。デイ・ケアを「PT, OTの進出が将来不可欠な分野」として大事に育てていきたいところでしょう。

(寺山久美子)

<編集顧問>

天児民和
 九州労災病院名誉院長

五味重春
 埼玉県生活福祉部

砂原茂一
 国立療養所東京病院名誉院長

津山直一
 東京大学教授・整形外科

水野祥太郎
 川崎リハビリ学院長
 (五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上田敏
 東大リハビリ部

荻島秀男
 リハビリテーションペ
 イン(痛み)クリニック
 クわび診療所

大喜多潤
 兵庫県リハビリセンター

寺山久美子
 都心身障害者センター

富岡詔子
 山梨日下部病院

奈良勲
 金沢大学医療技術短大

福屋靖子
 筑波大学

松村秩
 都養育院リハビリ部

<編集同人>

安達克己
 池田俊雄

伊東元夫
 宇都宮初幸

大丸幸翼
 金子矩子

鎌倉矩子
 紀伊克昌

木村信子
 駒沢治夫

佐藤智明
 嶋田明子

鈴木昌家
 関昌明

高橋正明
 中屋久隆

橋元しげ子
 藤沢令子

矢谷令子
 山下隆昭

(担当 細田・西塚)